

Press Release

2014年1月16日
メドピア株式会社

「医療訴訟の経験」について 医療訴訟の経験があるのは全体の1割

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「医療訴訟の経験」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

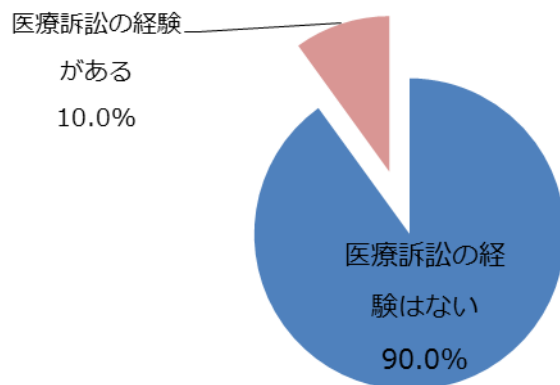
医師専門サイトMedPeer調査結果：「医療訴訟の経験」について（総回答：3,384人）

順位	回答	回答数（人）	占有率
1	医療訴訟の経験はない	3,046	90.0%
2	医療訴訟の経験がある	338	10.0%
-	合計	3,384	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（6万人以上）を対象に「**医療訴訟の経験はありますか？**」という質問をしたところ、**3,384**件の回答が寄せられた。
- 「医療訴訟の経験はない」という回答が圧倒的に多く、全体の90%を占めた。訴訟にまで発展しないものの示談で決着したケースもみられる。
- ほとんどの回答者は、「幸いにも医療訴訟の経験はない」とコメントしており、訴えられないのは「運がいいだけ」と考えている。「ささいなことでもカルテ記載する」「入院時には説明をきっちりしている」「医師賠償責任保険に加入している」といった対策もみられるが、ヒヤリとした経験は誰にもあるようで、「いつ巻き込まれるか分からず不安」という声も少なくない。
- 「医療訴訟の経験がある」は10%。最終的には和解や示談になった例も多い。「訴訟は時間的にも、精神的にも大きな負担」「医学的な妥当性と乖離した議論となった」「勝訴したが、気持ちは晴れなかった」といったコメントがみられた。

▼総合結果



n=3,384 MedPeer調べ

回答コメント（回答一部を抜粋）

「医療訴訟の経験はない」 3,046件

- ・医療訴訟の報道に接する度に、他人事ではないと感じます。(50代、一般内科)
- ・なんとかかんとか切り抜けてきました。理不尽な訴訟の報道にはいつもうんざりしています。(40代、消化器外科)
- ・医療訴訟直前まで行きましたが、示談で解決しました。とても気が重い毎日でした。(40代、皮膚科)
- ・常にリスクとは隣り合わせですよね。基本は遵守、丁寧な対応を心がけています。(40代、精神科)
- ・毎日注意しながら、患者が重篤化しそうな場合は、今後問題になりそうな諸問題を様々な角度から説明し、前もって理解してもらうよう心がけています。(50代、小児科)
- ・裁判の経験ないですが、示談になったことはあります。病院が矢面に立ってくれました。(30代、皮膚科)
- ・訴えるぞと家族に言われたことはありますが、治療の経過をきちんと説明したら、一応納得されました。(40代、精神科)
- ・患者やその家族が聞いていなかった、知らなかったということがないように入院時には説明をきっちりしていますし、説明した内容もカルテにきっちり記載しています。高齢者の場合は入院したら安心と思われることが多いので、ベットからの転落や風呂場やトイレでの転倒など入院していても事故はあるということまで伝えて入院としています。(40代、精神科)
- ・私自身はありませんが、関係した症例の医療訴訟はあります。いずれにせよ、きちんとしたカルテの記載がとても重要と今でも考えています。ささいなことでもカルテ記載のくせは重要です！！(40代、産婦人科)
- ・本当に幸いなことに今まではありません。ただし、“地雷を踏んでないだけ”と思っています。医師を廃業しても3年程度は医師賠償保険を続けようと思っています。(40代、一般内科)
- ・訴訟リスクを回避することに重点をおいて診療しています。(20代、麻酔科)
- ・院内他科で訴訟がありましたが、過失はない事案でも結局和解に至って医療者側が責任を認めたことになることが多いことに忸怩たる思いです。(50代、呼吸器外科)
- ・示談で済んだような経験はあります。臨床を一生懸命やっていたらおこりうるように感じます。(50代、消化器内科)

- ・現在のところありませんが、いろんな患者や家族がいますので、いつ訴えられてもおかしくはないと思っています。(50代、一般内科)

「医療訴訟の経験がある」 338件

- ・負けないとわかっているけど、心身ともに疲弊します。二度とごめんです。(40代、消化器内科)
- ・医療訴訟を起こされましたが、結局裁判までは行かず、和解で解決です。こちらが好意で行ったことが裏目に出て、非常に不快な思いをしました。色々な家族がいます。(50代、一般内科)
- ・私はないが、医局であり、それが一因となり医局が崩壊した。結果は訴えられた先生の完全勝訴。でも時間、失ったポストは帰ってこない。(40代、循環器内科)
- ・グループの医師の見落としで訴訟になりました。弁護士の考える訴えと、医師が考える訴えはかけ離れていると実感しました。(40代、消化器内科)
- ・裁判所も行きました。病院の弁護士は負けるはずがないと言っていましたが、結局敗訴。医療裁判は患者側に裁判官は立ちますので、医療側は最初から不利です。長期間にわたりストレスがかかりました。(40代、小児科)
- ・結局、調停で向こうの勝ち目が全くないことが明らかになって訴訟にまではいきませんでした。本当に調停だけでも非常に疲弊します。(50代、産婦人科)
- ・一緒に生活しているご家族には経緯を理解していただき、納得していただきましたが、経過中に一度も顔を見せたことのない家族が出てきて、訴訟になりました。こちらに何の落ち度もなく、勝訴でした。(50代、消化器外科)
- ・鏡視下手術での合併症で訴訟となり約7年間悩まされた。(50代、一般内科)
- ・裁判になり敗訴しました。裁判での、患者死亡に至った判断基準が医学的に誤っており、「医学上の正論は司法の筋書きに負ける」と思いました。何が正しいのか、誰が何をさばくのか？医療裁判は、裁判官、弁護士に当たり外れがありません。(60代、一般内科)
- ・訴訟の前まで行きました。裁判所より突然証拠保全の連絡があり5~6人の裁判所の人間と原告側の弁護士が来ました。大騒ぎの割にはカルテのコピーを取っただけで帰りました。その後1年たちますが何も動き無しで、提訴をあきらめたようです。(60代、産婦人科)
- ・訴えられて結審まで12年、勝訴しましたが、気持ちは晴れませんでした。(60代、呼吸器内科)

※調査方法

□期間：

2013年12月18日（水）～ 2013年12月24日（火）

□有効回答：

3,384人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

医療訴訟について、近年ようやく医療従事者の間でも訴訟対策が浸透してきました。各地で訴訟に関する講演会などが開催されている他に、インターネット上で訴訟関連情報の共有も進んでいます。また、医療訴訟の備えとして、医師賠償責任保険などに加入されている方も多いのではないかと思います。

そこで、MedPeer会員の皆さまに質問です。

皆さまは、医療訴訟の経験（提訴された経験）はありますか。

以下の選択肢より当てはまるものをご選択いただき、コメント欄に医療訴訟に関するご意見をご記入ください。

1. 医療訴訟の経験がある
2. 医療訴訟の経験はない

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer（メドピア）とは - 2013年9月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: <https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつかるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は6万人以上で、日本の医師の約4人に1人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約1,900の医療用医薬品に対して、26万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上